



コールセキュアステータスポリシー

- [コールセキュアステータスポリシーについて \(1 ページ\)](#)
- [コールセキュアステータスポリシーの設定 \(2 ページ\)](#)

コールセキュアステータスポリシーについて

コールセキュアステータスポリシーは、電話機のセキュアステータスアイコンの表示を制御します。ポリシーのオプションは次のとおりです。

- **BFCP** および **iX** アプリケーションストリームを除くすべてのメディアが暗号化されている必要があります。

これはデフォルト値です。コールのセキュリティステータスは、**BFCP** および **iX** アプリケーションストリームの暗号化ステータスに依存しません。

- **IX** アプリケーションストリームを除くすべてのメディアが暗号化されている必要があります
コールのセキュリティステータスは、暗号化ステータス **iX** アプリケーションストリームに依存しません。

- **BFCP** アプリケーションストリームを除くすべてのメディアが暗号化されている必要があります

コールのセキュリティステータスは、**BFCP** 暗号化ステータスに依存しません。

- セッション内のすべてのメディアが暗号化されている必要があります

コールのセキュリティステータスは、確立された電話セッションのすべてのメディアストリームの暗号化ステータスによって異なります。

- 音声のみを暗号化する必要があります

コールのセキュリティステータスは、オーディオストリームの暗号化によって異なります。



(注) ポリシーの変更は、電話機のセキュアなアイコンの表示とセキュアトーンの再生に影響します。

コールセキュアステータスポリシーの設定

手順

- Step 1** Cisco Unified Communications Manager については、『*System Configuration Guide*』の「Configure service Parameters」の項の説明に従って、[Call Secure Status Policy] サービスパラメータを検索します。
- Step 2** [Secure Call Icon Display Policy] ドロップダウンリストから、ポリシーオプションを選択します。ビデオコールとセキュアトーンへの影響を示す警告メッセージが表示されます。
- Step 3** [保存 (Save)] をクリックします。
- ウィンドウの内容が更新され、Unified Communications Manager によってサービスパラメータが変更内容で更新されます。
-